

向陽台サッカースポーツ少年団

2019年度
父母説明資料

団の組織など

- 団 長 井田 正裕 副 団 長 稲垣 哲夫
梅本 功
 - 監 督 梅本 功
 - 強化部長 海老 昌則 ヘッドコーチ 浜辺 浩太
 - 高学年(4～6年)担当 小田 悟 (主担当)
嵯峨 康彰・宮城 直志
 - 低学年(園児～3年)担当 稲垣 哲夫 (主担当)
駒形 和彦
- ※ 非常勤コーチ除く

活動の目的

サッカーを通じ、社会生活に最も必要な共同協力の精神を養い、身体を鍛え、強く生きる青少年の育成



- 指導者、父母、他団員へのリスペクト
- 助け合う心の醸成
- 自分で決め、自分が実行する力

各大会の位置付

- 全道大会へつながる大会
選抜された者により全力で勝利する
- その他の地区主催大会
全員が参加し勝利を目指す
- 長期リーグ(U-12を除く)・交流試合
全員が出来るだけ同じ時間試合に出場しスキルアップを目指す

サッカー以外の活動

- 1 登山(年2回程度)
- 2 キャンプ・炊事遠足
- 3 マラソン(日航・焼き肉大会時)
- 4 社会貢献活動(ボランティア等)

※ 団焼肉大会(8/10)

チーム編成

- 6年生(U-12)
 - 地区大会等:6年、5年(15名)
 - 地区リーグ・全道予選:
 - 6年+5年一部(12名以下)
 - U-12チャレンジリーグ:
 - 5年一部、4年、3年の一部(10名)
- 5年生(U-11)
 - 地区大会等(チビリン除く):5年、4年(13名)

4年生(U-10)

全ての試合：4年、3年(11名)

指導目標

S、状況判断の習慣づけと的確な判断能力の向上

自由な発想で、主体的な判断とプレー ⇒ 各学年を通じ

1、体を動かすこと

「行動欲求」を満足させる。⇒ 園児・1年

2、できるようになること

「達成感」をもたらす ⇒ 1年・2年

3、仲間やコーチに認めってもらうこと

「認知」される喜び ⇒ 3年・4年

4、勝つこと(ライバル、試合)

「勝利」の満足感 ⇒ 4年

5、仲間やコーチと協力すること

「一体感」の喜び ⇒ 4年・5年

6、自分自身に勝つこと

「努力」が実る喜び ⇒ 5年・6年

自立した、考えて行動できる団員の育成のための取り組み

1. あいさつ・返事・片付け・整理整頓(全学年)

サッカーより大切なものと思って実行して行こう。

2. 練習・試合に必要な用具の準備(全学年)

スパイクやユニホーム等、自分が使うものは自分で用意しよう。

3. サッカーノートを書く(全学年)

サッカーノートに次の内容を記入し、将来の自分に必要な情報を残そう。

a 練習のとき、コーチに習った大事なこと

b 試合の前に:(チーム・個人として)「やるべきこと」と「やりたいこと」

c 試合の後に:bで挙げたものの結果と大切だったこと

4. 各種大会等での父母の不帯同(4年生以上)

父母は団員の送迎とチームテントなどの搬送のみで、チームテントなどの準備はコーチ等の指導により自主設置する。団員は、水、弁当や用具など自主管理する。

※ 応援は精一杯してください。子供たちの一番の楽しみです。

父母の皆様へ

- いつでも子供のファンでいてください

怒ったり、プレーに注文を付けるのはコーチに任せて

- 応援の声は大いに結構

ポジティブな声援をお願いします。審判の判定に関する批判などは必要ないと思っています。

- 子供は何でもできます

だから、明日の試合の準備の心配はいりません

- 良い見本でいてください

試合会場ばかりでなく、いつでもあなたたちが見本です

体罰等について

- 日本サッカー協会をはじめ、各方面から通達やガイドラインが発出されている状況

体罰はもとより選手の尊厳を傷つけたり、脅威を与えるパワーハラスメント、セクシャルハラスメントやいじめの発言・行動等を行なわない。

各指導者へ徹底
父母からの情報提供